

令和5年度 第2回 エルシーブイ放送番組審議会

■開催日時 令和5年9月25日（月） 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員 市川 純章 委員
河西 滋子 委員
赤沼 喜市 委員
井上 淳哉 委員
菊池 大介 委員

放送事業者側 (11名)

深井 賀博 代表取締役社長
大野 弘信 専務取締役
八幡 聡 放送制作部長
小池 利幸 放送制作部 報道課長
佐野 銀次郎 放送制作部 制作課長
吉田 和晃 放送制作部 FM制作課長
早川 達朗 放送制作部 編成課長
濱 大介 放送制作部 制作課
早出 伸哉 事務局
國枝 志保 事務局
内藤 由里子 事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 『生中継 諏訪大社下社遷座祭 お舟祭り』

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・番組で力を入れたポイント（お祭りの一部始終を伝える、柴舟が動く迫力を伝える、氏子全員の姿を伝える）がすべて伝えられている番組だった。
- ・柴舟が境内を3周することや相撲をとることなど、今まで知らなかった祭りの一面を知ることができた。
- ・昔祭りに関わった人も思い出せるような番組で良かった。
- ・宮司による祭りの説明があったため、祭りに対する理解を深めてから番組を見ることができた。
- ・VTRで、柴舟を作っている様子や10年前の祭りの様子などが入り、飽きずに見ることができた。
- ・VTRのタイミングが良かった。VTRのおかげで次に入ってきた中継シーンが深く心に入ってくる。
- ・ダイジェストVTRは、関係者以外にも祭りの内容が伝わるものだった。
- ・インタビューを受けた氏子の返答が面白かった。氏子の表情がよく見えた。
- ・知っている人が映っているところが地域密着の番組を見ようと思う大きな価値だと改めて認識した。
- ・氏子のテンションが高いと感じた。にこやかで楽しそうな感じが伝わった。映像の力を感じた。
- ・魁町の直角カーブや豪雨の中の曳行は迫力があった。
- ・小型カメラの映像は臨場感があった。
- ・雨の水滴や煙って見えない部分も含めて臨場感だと感じた。
- ・映像が綺麗で楽しめた。
- ・テロップが工夫されていると思った。

□指摘意見

- ・柴舟の現在地を示す地図があれば、よりわかりやすくなった。
- ・カメラによって、映像が綺麗な時と荒い時があった。
- ・右上のテロップは、曇天の中での白い文字表記だったため、読めないシーンが多かった。
- ・祭りを見物している人の声も聞きたかった。
- ・柴舟から綱先までの長さが分かりにくかった。
- ・人を大きく映す場面が多かったが、祭り全体の様子が分かる場面(俯瞰)が少なかった。

以上